

2025年国際博覧会の大阪・関西誘致に関する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球規模の課題に対し、世界からの知恵を一堂に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

現在、我が国は、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを掲げて、2025年国際博覧会の開催国に立候補したところである。

2025年国際博覧会の実現は、日本の歴史・文化の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう絶好の機会であり、イノベーションの創出や観光客の増大などを通じて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の持続的な経済成長を牽引するとともに、国際社会における我が国への理解・信頼の向上が期待されることから、極めて大きな意義がある。

今後、本年11月の開催国決定に向け、BIE（博覧会国際事務局）調査団による現地調査や同総会におけるプレゼンテーションが予定されていることから、政府・地元自治体・経済界が連携し、オールジャパンで取り組んでいくことが強く求められることとなる。

よって、全国町村議会議長会としては、大阪・関西地域における博覧会開催について、誘致に向けた全国的な機運の醸成など、必要な取組を積極的に推進するものとする。

併せて、政府においては、誘致実現に向け、万全の対策を講じられることを強く要請する。

以上、決議する。

平成30年2月8日

全国町村議会議長会